



伊勢志摩サミット警備の警察官に感謝状

5月16日、市消防本部は、同月3日に発生した火災の初期消火を行った警視庁と長崎県警の警察官5人に感謝状を贈りました。

非番だった警視庁の石川巡査長が、宿泊するホテル近くをランニング中、鳥羽湾岸壁で廃船が燃えているのに気付き、所有者と一緒に消火活動を行いました。

その後、同じく非番で外出中だった4人の警察官も加わり、消火活動や岸壁近くの道路での交通誘導に当たりました。

火災は約1時間後に鎮火し、ケガ人はありませんでした。



鳥羽を世界にPR

昔から、鳥羽の人々は海の恩恵を受け、海と共に暮らしてきました。その鳥羽独自の文化や料理、おもてなしの心を、伊勢志摩サミットを機に世界にPRするため、5月18日に鳥羽マルシェで海外メディア歓迎晩餐会を開催しました。

晩餐会には、イタリアやフランス、イギリスなど12か国20人が参加し、鳥羽の料理人が腕を振るった料理に舌鼓を打っていました。



白瀧さん「禊修行体験」

みそぎ

船津町の白瀧さんの愛称で親しまれている白瀧大明神は、古くから自然崇拝の御神体として信仰されてきた御山のことで、昔から聖者や修行者たちが禊をし、身を清めてきました。

現在、一般参拝のかたにも開放し禊修行の体験ができるようになっています。

問合せ先 白瀧奉賛会代表 松本

☎090-3382-7079



安楽島小学校から熊本へ

5月9日、安楽島小学校の児童が、熊本地震の被災地への支援のために集めた義援金80,447円を木田市長へ預けました。

この募金活動は、6年生の竹本藍さんが「早く元の生活を取り戻してほしい」との思いから発案し、学校の玄関で呼びかけたり、授業参観の時に保護者へ声掛けをして義援金を集めました。

義援金は、日本赤十字社を通じて被災地に送られます。